

8. 福祉・子育て

	タイトル	意見等
1	全盲者の方に対する支援について	①障害者手帳だけの判断ではなく、全盲者への支援を改めて検討して欲しい。 全盲者への支援を行うことで、弱視者への支援にもつながる。 ②徳島視覚支援学校の教員は、全盲者への勉強の教え方を学習して欲しい。教員が全盲者への教え方を理解しなければ、全盲者の「自立」が進まない。 また、全盲者が学校を卒業したら、県の会計年度任用職員など就職できるような仕組みを構築して欲しい。 ③介護現場における、無資格者のあんま・マッサージの施術をなくして欲しい。 ④ハローワークでの視覚障がい者の求人を増やして欲しい。 視覚障がい者の求人が最も少ない。 社会参加の面での支援をもう少し考え直して欲しい。
2	保育所のこと	徳島県内の私立保育園のなかには、10年以上も前から監視カメラを設置して、親が確認できるシステムを取り入れているところがあります。佐那河内村保育所の記事を読みまして、防犯カメラや監視カメラは、県下の地方公共団体経営の保育所、学校に設置していただきたいと思いました。子どもたちが幼少期の頃、病気がちで保育園を休むことが多く、預けてあった布団は押入れの一番下におかれていたのをみたことがありました。このたびの事件は我が事のように思えてなりません。また、保育士には、生涯教育（標準コース、専門コースなど）、資格に関する報告の義務化など、医療スタッフと同様のハードルをおくべきではないかと考えました。よろしくお願い致します。